

萌丘東幼稚園
萌丘東保育園 ほいくだより

2022



園長コラム

今年も梅雨の季節になってきました。

梅雨は雨が多くて嫌、という見方もありますが、同時に生き物や植物が活気づく時期でもあり、こども達にとってはドキドキやワクワクに沢山出会える時期でもあります。石の裏にいる虫たちに驚いたり、オタマジャクシがカエルになっていく姿に喜んだりするなど、体験から学んでいるこども達の姿が沢山見られています。

さて、園外保育の時期でもありました。年長さんは今年も奥日光の戦場ヶ原までハイキングに行ってきました。ブログにアップしてありますので、その様子を見てくださった方も多いかと思います。自然体験のためとは言え、戦場ヶ原はかなり遠いのですが、東園としてはこだわりをもって続けさせていただいています。

0～2歳児は近くの散歩から始まり、卒園する頃には戦場ヶ原を歩ききったり、茶臼岳を登ったりできるようになるのですから、こども達の成長にはいつも感動させられます。それも小さい頃からの積み重ねがあってこそ。これからも色々な体験をしていきますので、保護者の皆様も様々な形で園への理解やご協力をお願いしたいと思います。

0～2歳児クラスの1か月

顔は似ていても

園やクラスにも慣れだし、その子らしい姿が沢山見られるようになってきました。活動的な子もいれば、あまり動かない子もいるなど、同じ年齢でも個人差が大きいものです。一人目のお子さんと二人目のお子さんとで全然性格が違っていた経験をされた方も沢山いるのではないのでしょうか。



みてみて

ここ最近では寒い日が続いていましたが、天候にも恵まれて外で遊ぶことも沢山出来ました。晴れた日にはみんなが園庭や農園に出かけるのが東園の日常ですので、クラスには誰もいないことがよくあります。

戸外遊びは、自然発生的に異年齢の触れ合いが生まれやすく、写真の様にじーっと年上の子と見つめる姿あったりと、クラスの中にはない刺激に溢れています。



3～5歳児クラスの1か月

何度でも繰り返す

今ご家庭ではのりやクレヨン、絵具などはどのくらい使っているのでしょうか。自分のはのりの感触があまり好きじゃなかったのですが、クレヨンは好きで家で沢山書いていたことをよく覚えています。家庭では汚れが気になる場所ではあると思いますが、シンプルな素材で繰り返し遊べるような工夫が想像力を高めます。



誰でも遊べるわけじゃない

この時期の東園には、泥団子が壊されないように高いところに隠してあることがよくあります。今年も例外ではないようです。こどもにとって継続して作っていくことの楽しさに目覚めるのは概ね4歳くらいになってからです。毎日少しずつ大きくなっていく泥団子に喜びを感じられるほど心が育ってきたようです。



昔は裸でやっていたそうです

見ている誰もが楽しくなるのが泥んこ遊びです。やっている本人も、それを見ている大人たちも笑顔にしてくれます。そんな泥んこ遊びもおっかなびっくりの様子でいつも始まります。一度やってしまえばわかること、やらないとずっとわからないことが泥んこ遊びにはあるようです。

